

計画の名称	4 荒川左岸圏域における治水対策の推進と豊かな環境の創出			
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	※平成24年度から新計画に統合	交付対象	埼玉県
計画の目標				

荒川左岸圏域は、市街化の進展や開発に伴う流出量の増大、農地の減少に伴う保水・遊水機能の低下により、河川の直接流出量が増加しており、流下能力が不足する区間を中心に浸水被害が発生している。このことから、時間雨量 50mm 程度の降雨による洪水を安全に流下させるための治水施設の整備を進めることにより浸水被害の解消を図り、県民の安心・安全な生活を確保する。

計画の成果目標 (定量的指標)	①概ね50mm/h程度の降雨による洪水を安全に流下させるため、河川整備を行うことにより浸水被害が発生する恐れのある区域を155ha解消する。 ②河川等情報基盤整備について、延長 25.9Km区間のうち、2.8Km区間の監視体制の確立を図る。 ③排水機場機器の故障回数 0 を目指し、機能停止を回避する。			
-----------------	---	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)	
①被害想定区域のうち5箇年の河川整備により被害が解消される区域の面積	①0ha	①51ha	①155ha	
②河川等情報基盤整備により監視体制を確立できる河川の延長	②0km	②2.8km	②2.8km	
③排水機場機器の故障による機能停止回数	③0回	③0回	③0回	

拠点施設・重点地区	特になし			
-----------	------	--	--	--

全体事業費	合計 (A+B+C)	7,118百万円	A	7,118百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	------------	----------	---	----------	---	------	---	------	------------------------	------

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	
事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価 (中間評価) の実施体制
策定主体にて評価を実施し、その結果を県土整備部公共事業評価検討会議に報告し参考意見を聴取した。	平成 27 年 11 月
	公表の方法
	埼玉県県土整備部河川砂防課のホームページ掲載

1. 交付対象事業の実施状況

交付対象事業

A 河川事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	事業進捗	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26					
3-A-1	河川	一般	埼玉県	直接	—	流対河川1大	—	芝川流域治水対策河川事業	掘削、護岸、調節池整備等(L=0.4km)、測試	川口市、さいたま市						5,000	○	完了	
3-A-2	河川	一般	埼玉県	直接	—	流対河川1	—	鴻沼川流域治水対策河川事業	掘削、護岸等(L=0.1km)	さいたま市						117	○	完了	
3-A-3	河川	一般	川口市	直接	—	都市基盤1	—	芝川都市基盤河川改修事業	掘削、護岸、用地等(L=0.2km)、測試	川口市						264	○	完了	
3-A-4	河川	一般	桶川市	直接	—	都市基盤1	—	江川都市基盤河川改修事業	護岸、橋梁、用地等(L=0.1km)、測試	桶川市						198	○	完了	
3-A-5	河川	一般	埼玉県	直接	—	特構1	—	菖蒲川特定構造物改築事業 (三領排水機場)	排水機場リニューアル	戸田市						100	○	完了	
3-A-6	河川	一般	埼玉県	直接	—	特構1	—	笹目川特定構造物改築事業 (笹目川排水機場)	排水機場リニューアル	川口市						1,160	○	完了	
3-A-7	河川	一般	上尾市	直接	—	準用1	—	荒川圏域総合流域防災事業 (浅間川上流)	掘削、護岸等(L=0.1km)	上尾市						87	○	完了	
3-A-8	河川	一般	上尾市	直接	—	準用1	—	荒川圏域総合流域防災事業 (上尾中堀川)	掘削、護岸等(L=0.1km)	上尾市						36	○	完了	
3-A-9	河川	一般	さいたま市	直接	—	準用1	—	荒川圏域総合流域防災事業 (新川)	築堤、掘削、護岸等(L=0.12km)	さいたま市						84	○	完了	
3-A-10	河川	一般	埼玉県	直接	—	情報1	—	荒川圏域総合流域防災事業 (芝川)	河川情報システム	川口市外						52	○	完了	
3-A-11	河川	一般	埼玉県	直接	—	環境1	—	荒川圏域総合流域防災事業 (芝川)	モニタリング等	さいたま市、鳩ヶ谷市、川口市						12	○	完了	
3-A-12	河川	一般	埼玉県	直接	—	環境1	—	荒川圏域総合流域防災事業 (笹目川・菖蒲川)	モニタリング等	さいたま市、戸田市						8	○	完了	
小計 (12事業)																			
合計																	7,118		

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	事業進捗	備考
										H25	H26	H27	H28	H29			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	事業進捗	備考
										H25	H26	H27	H28	H29			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発言状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度～平成23年度の2年間で、掘削工58,500m³、用地買収A=2,589m²、築堤工V=1,310m³、護岸工L=545m、護岸工V=2,550m³、橋梁架換等を実施。 荒川圏域総合流域防災事業(芝川)は、河川情報システム整備が完了しており、指標②監視体制の確立できる河川延長が2.8kmとなった。 菖蒲川特定構造物改築事業(三領排水機場)は排水機場リニューアルを完了し、指標③排水機場の故障による機械停止回数が0回となった。 荒川圏域総合流域防災事業(笹目川・菖蒲川)については、平成22年度に整備が完了しているが、事業内容がモニタリングなどであることから、浸水被害解消面積の増加に寄与していない。 芝川都市基盤河川改修事業は、平成24年度開始の新規計画である「川口市社会資本総合整備計画」に計画が引き継がれている。 その他河川は、平成24年度開始の新規計画である「埼玉県における治水対策の推進と豊かな環境の創出(防災・安全)」に計画が引き継がれており、この計画の完了時に発現状況を確認することとしている。 															
	II 定量的指標の達成状況	指標① 被害解消面積	最終目標値	155ha	目標値と実績値 に差が出た要因	平成24年度から事業実施中である「埼玉県における治水対策の推進と豊かな環境の創出(防災・安全)」に計画が引き継がれたため。										
最終実績値			0ha(平成23年度末)													
指標② 監視体制を確立できる河川延長		最終目標値	2.8km	目標値と実績値 に差が出た要因												
		最終実績値	2.8km(平成23年度末)													
指標③ 排水機場の故障による機械停止回数		最終目標値	0回	目標値と実績値 に差が出た要因												
		最終実績値	0回(平成23年度末)													

3. 特記事項(今後の方針)

河川整備については、平成24年度から事業実施中である「埼玉県における治水対策の推進と豊かな環境の創出(防災・安全)」にて事業実施内容の効率化、低コスト化、予算の重点配分等を検討しながら引き続き推進していく。

(参考図面)

計画の名称	4 荒川左岸圏域における治水対策の推進と豊かな環境の創出		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間) ※平成24年度から新計画に統合	交付対象	埼玉県

